



地 理 B 問 題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は10ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、地理Bの問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆又はシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は60分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

平成 24 年度食料・農業・農村白書によると、平成 24(2012)年における日本の農林水産物輸出額は 4,497 億円、輸入額は 7 兆 9,178 億円であり、大幅な輸入超過になっている。なお、農産物の輸入額は 5 兆 4,419 億円で、輸出額を差し引いた農産物純輸入額でみると、日本は世界で有数の農産物純輸入国であり、農産物の海外依存度が極めて高い。⁽¹⁾

表 1 は日本の輸入農産物の上位 10 品目(金額ベース)についての推移を示したものである。昭和 35(1960)年では、主に食用としての(ア)や油脂原料となる大豆⁽²⁾などが上位となっている。その他に第 5 位に牛脂、第 7 位にコブラと油脂原料が上位 10 品目に入っていることが特徴としてあげられる。

昭和 45(1970)年には、食生活が多様化したことなどにより、畜産物への需要が高まり、主に飼料用となる(イ)が第 1 位となる。同じく第 5 位には、乾燥に強いという特性を持ち、先進国では主に飼料用として栽培される(ウ)が入っている。なお、日本は(ウ)を配合飼料としての用途を中心に、主に米国から輸入している。その他には第 7 位にたばこ、第 8 位に(エ)などいわゆる嗜好品が上位 10 品目に入るようになった。

昭和 55(1980)年になると、(オ)、(カ)などの肉類が上位 10 品目に入るようになり、その後は 10 品目のなかでも比較的上位に位置するようになっていく。ただし、輸入品の安全性等の問題もあり、国内生産量に減少傾向が認められるというわけではない。また、近年においては、外食産業などを中心に、主に中国やタイから輸入される鶏肉調製品への需要が高まっており、平成 24(2012)年には第 7 位になっている。

日本の農産物の輸入相手国は、特定の国・地域に偏っている傾向があり、平成 24(2012)年の農産物輸入額 5 兆 4,419 億円のうち、米国からの輸入額が 24.7 % を占めている。特定品目では、(イ)は米国からの輸入額が全輸入額の 75 % を超えており、バイオ燃料向けの需要拡大や異常気象等などの影響を受ける可能性がある。⁽³⁾ 輸入相手国の多角化、農産物の備蓄率および自給率向上のためにどのような取り組みを行うべきかが、わが国の重要な政策課題になっている。

表1. わが国の輸入農産物の推移(上位10品目・金額ベース)

	昭和35年 (1960)	昭和45年 (1970)	昭和55年 (1980)	平成2年 (1990)	平成12年 (2000)	平成24年 (2012)
1位	(ア)	(イ)	(イ)	(イ)	(カ)	たばこ
2位	大豆	大豆	大豆	(オ)	たばこ	(イ)
3位	粗糖	(ア)	(ア)	アルコール 飲料	(オ)	(カ)
4位	(イ)	粗糖	粗糖	(カ)	生鮮・乾燥 果実	生鮮・乾燥 果実
5位	牛脂	(ウ)	(エ)	たばこ	(イ)	(オ)
6位	米	バナナ	(ウ)	大豆	アルコール 飲料	アルコール 飲料
7位	コブラ	たばこ	(オ)	(ア)	大豆	鶏肉調製品
8位	たばこ	(エ)	(カ)	菜種	(ア)	(ア)
9位	乾燥ミルク	牛脂	たばこ	鶏肉	生鮮野菜	大豆
10位	ふすま	羊肉	アルコール 飲料	(エ)	鶏肉	菜種

注：1) 工業用原料(羊毛, 綿, 天然ゴム, その他(牛皮等))を除く。

2) たばこは, 製品たばこを含む。

3) 平成2(1990)年以前は, 生鮮・乾燥果実の分類を採用していない。

出所：農林水産省編『食料・農業・農村白書(平成24年度)』より作成。

問1 下線部(1)に農産物純輸入国とあるが, 以下のなかで2010年において農産物純輸入国の国はどれか。次の選択肢から1つ選び, その記号をマークせよ。

- A 中国 B オランダ C オーストラリア
D インド E フランス

問2 下線部(2)に油脂原料となる大豆とあるが, 近年は大豆油よりもパーム油の生産が世界的に伸びている。パーム油の生産拡大には環境への悪影響も指摘されている。どのような悪影響が考えられるか, 40字以内で解答欄に記述せよ。

問 3 下線部(3)にバイオ燃料向けの需要とあるが、EU加盟国であるドイツ、フランスなどの生産量の世界シェアが比較的高く、バイオディーゼルの原料などとして用いられている農作物はどれか。次の選択肢から1つ選び、その記号をマークせよ。

- A さとうきび B 菜種 C 胡麻
D てんさい E 落花生

問 4 (ア)に関する文章のうち明らかに誤っているものはどれか。次の選択肢から1つ選び、その記号をマークせよ。

- A 秋に収穫されるものは、主に高緯度地方で生産される。
B 日本国内の作付面積を地域別に見ると北海道が最大である。
C 日本の国別輸入額では、上位3か国は米国、カナダ、オーストラリアである。
D 単位面積あたりの収量では、ドイツやフランスよりも米国の方が高い。
E 世界で生産量が最も多い国は中国だが、輸出量はわずかである。

問 5 (イ)の主要生産国である米国では、(イ)は中央平原を中心としたベルト地帯で主に生産されている。このベルト地帯に含まれているとはいえない州はどれか。次の選択肢から1つ選び、その記号をマークせよ。

- A アイオワ B ミズーリ C アイダホ
D インディアナ E イリノイ

問 6 (ウ)にあてはまる品目の名称を次の選択肢から1つ選び、その記号をマークせよ。

- A ジュート B パラゴム C キャッサバ
D ライ麦 E ソルガム(グレーンソルガム)

問 7 (エ)は北緯・南緯 25 度に挟まれるベルト地帯で主に生産されている。

(エ)の世界最大の生産国にある、この品目の生産に適した間帯土壌の名称を
解答欄に記入せよ。

問 8 (オ)に関する文章のうち最も適切なものはどれか。次の選択肢から 1 つ選
び、その記号をマークせよ。

- A 日本では 2003 年 12 月から、米国産の全面輸入禁止措置が継続してい
る。
- B EU 諸国の中ではデンマークの生産量が最も多く、日本にも輸出されて
いる。
- C 主に海外で飼養される種としては、シャロレーやヘレフォードなどがあ
る。
- D 近年の国内飼養頭数の都道府県別割合では、宮崎県、鹿児島県、北海道
の順に高い。
- E 日本では 1991 年に輸入自由化が行われ、輸入量制限と関税が撤廃され
た。

〔Ⅱ〕 次の表は、日本を含むいくつかの国の人口構成を示したものである。これにもとづき、以下の設問に答えよ。

表1. 年齢階級別人口：2010年 (1,000人)

年 齢	国 名					
	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
0～4	4,306	9,589	3,399	4,153	27,832	5,297
5～9	4,337	8,828	3,603	4,056	23,734	5,586
10～14	4,797	7,968	3,968	3,940	19,621	5,921
15～19	5,208	7,680	4,233	3,908	16,721	6,063
20～24	4,859	7,640	4,914	4,012	14,438	6,426
25～29	5,372	7,674	4,892	4,068	12,593	7,294
30～34	5,675	6,333	4,750	3,970	10,642	8,341
35～39	5,396	4,664	5,097	4,501	8,513	9,786
40～44	5,159	4,149	6,789	4,499	6,782	8,742
45～49	4,794	3,835	7,085	4,460	5,425	8,033
50～54	4,259	3,561	6,152	4,311	4,291	7,644
55～59	3,527	2,801	5,456	4,188	3,466	8,664
60～64	2,688	2,223	4,503	3,986	2,806	10,037
65～69	2,074	1,481	4,651	2,663	2,082	8,210
70～74	1,687	969	4,789	2,468	1,380	6,963
75～79	1,169	683	3,150	2,295	793	5,941
80～84	659	276	2,296	1,817	356	4,336
85～89	268	95	1,330	1,177	107	2,433
90以上	100	22	587	468	22	1,362
合 計	66,334	80,471	81,644	64,940	161,604	127,079

注：推計値を含む。

出所：U. S. Census Bureau, "International Data Base" および国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集』により作成。

問1 (ア)～(ウ)の各国の人口ピラミッドは、次の5つの型のうち、どれに分類されるか。次の選択肢から最も適切なものを1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- A 富士山型 B 釣鐘型 C つぼ型
D 星型 E ひょうたん型

問 2 (ア)～(カ)の国の中で最も出生率(人口 1,000 人当たり)が高い国の出生率は、どの程度の水準か。次の選択肢から最も適切なものを選び、その記号をマークせよ。

- A 20 ‰ B 40 ‰ C 60 ‰
D 80 ‰ E 100 ‰

問 3 (ア)～(カ)の国の中で最も高齢化が進んでいる国の老年人口割合は、どの程度の水準か。次の選択肢から最も適切なものを選び、その記号をマークせよ。

- A 17 % B 20 % C 23 %
D 26 % E 31 %

問 4 (ア)～(オ)に該当する国の名称を、次の選択肢から選び、その記号をマークせよ。

- A 日本 B エジプト C ニジェール
D フランス E タイ F ドイツ
G ナイジェリア H スウェーデン

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

オーストラリア大陸はアメリカ合衆国本土の面積にほぼ相当し、全体的に起伏の少ない、なだらかな地勢である。地形的には東部山地、中央低地帯、西部台地の3つの地域に区分される。また、同大陸の気候は多様である。

東部山地では 山脈が南北に走っており、この地域は石炭資源に恵まれている。また、この地域のニューサウスウェールズ州とビクトリア州は、オーストラリアの中で最も産業が発達している。

中央低地帯は北部のカーペンタリア湾岸の低地から南のマレー川、ダーリング川流域に至る地域である。中央部には被圧地下水を包蔵する構造性の 盆地がある。スノーウィー川の水を西流するマレー川水系に導き、多くのダムを建設して水力発電と同時にこの地域の灌漑に利用しようとする 計画が実施され、その結果この地域は有力な小麦生産地域となった。また、この地域で生産される小麦、羊毛の輸出港は、サウスオーストラリア州の州都 である。

西部台地は乾燥地域で国土の60%を占め、グレートサンディー砂漠、タナミ砂漠、グレートビクトリア砂漠、 砂漠が広がっている。この地域の北西部では鉄鉱石が露天掘りで産出されており、日本にも輸出されている。

問1 ～ に当てはまる最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問2 下線部(1)の気候区分に関して、①ダーウィン、②パース、の気候区として最も適切なケッペン区分を次の選択肢から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

A BS B Af C Aw D Cs E Cw

問 3 下線部(2)の地域に関して最も適切な炭田名を次の選択肢から1つ選び、その記号をマークせよ。

- A ウェイバ B マウントアイザ C カルグールリ
D ハンター E ヤンピーサウンド

問 4 下線部(3)の小麦生産に関して最も適切な年降水量を次の選択肢から1つ選び、その記号をマークせよ。

- A 150～300 mm B 300～500 mm C 500～750 mm
D 750～1000 mm E 1000 mm 以上

問 5 下線部(4)の地区に関して最も適切な鉱山名を次の選択肢から1つ選び、その記号をマークせよ。

- A ゴ ヴ B マウントホエールバック
C ブロークンヒル D ブラックウォーター
E オリンピックダム

〔IV〕 次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

かつて、高度成長期には、全国の多くの都市に路面電車が走り、東京の中心部にも多数の路線が縦横無尽に走っていた。駅の間隔が短く速度もゆっくりとしており、また長く連結されていないため地域住民の短距離移動には便利な乗り物であった。

地方から都市への人口移動による人口増加、自動車の増加により都心部の渋滞が恒常化し、路面電車も渋滞に巻き込まれるようになると、バスとともに定時運行に支障をきたすようになった。また、人口集中による地価の高騰により都心部に居住する人々が減少し郊外への居住が増え、都心部 が進行するドーナツ化現象が生じてきた。路面電車は、長距離移動や大量移動には適さないため、東京や全国の大都市では地下鉄や近郊電車の建設、相互乗り入れが積極的に進められ、路面電車は廃止の方向にあった。

今日、都市の慢性的な交通渋滞や大気汚染の問題を緩和するため、世界的に公共交通機関の利用が見直されてきている。その代表的な取り組みとして、 がある。これは、自宅から自動車やバイクで郊外にある公共交通機関の駅近く等に駐車した後、鉄道やバスに乗り換えて仕事や買い物に向かうという交通システムであり、 や でも取り入れられている。また、 は、官庁街やオフィス街、観光地や商業地に乗り入れる自動車に課金するものでロンドン、、 などでも採用され、公共交通機関の利用を促すものとなっている。 は、日本でも各地で採用されている試みで、通例、一般の営業路線のない住宅地の狭い道路を中小型のバスが走行⁽¹⁾し、停留所間隔を短くするなど高齢者等にも優しい乗り物として運行されている。

問 1 に最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問 2 に最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問 3 ドイツ南西部のバーデン＝ヴュルテンベルク州にある都市 は、太陽光発電による自然エネルギーへの転換を図っていることでも知られ、環境先進都市とされている。この都市の名称を解答欄に記入せよ。

問 4 EU の欧州議会 (European Parliament) の本会議場や欧州評議会 (Council of Europe) が位置する都市 の名称を解答欄に記入せよ。

問 5 に最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問 6 いくつかの島から構成される都市のため、進入路が限られ課金しやすいという特徴をもつ北欧の都市 の名称を解答欄に記入せよ。

問 7 東南アジアの都市国家として知られる都市 の名称を解答欄に記入せよ。

問 8 に最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問 9 下線部(1)の理由について 10 字以内で述べよ。